



# 1月24日(水)

## 17:30-19:00

# 沖縄の伝統食材“ピーパーズ”の 魅力と産業化に向けた取り組み

ピーパーズ※(ジャワナガコショウ)は沖縄、特に八重山諸島において古くから栽培され、すでに馴染み深い香辛料です。誉れ高い香りと健康効果から、全国的に再評価され、その産業化が期待されています。

これまでの地域における栽培・製造・利用方法を改めて調査し、原料・製品の成分分析を行うとともに、製造工程の課題解決や商品化に向けて、現在取り組んでいることを紹介します。

また、ブランド化・産業化のヒントとして、インドネシア産コショウから新たに開発された「純胡椒」について仙人スパイス代表の高橋氏にご紹介いただきます。

※ ピパーチ、ピーヤシ、チバティ、ヒハツモドキ等いろいろな呼び方がある中、本プロジェクトでは、沖縄ピーパーズ生産推進協会の呼称「ピーパーズ」を使用しています。

**島袋 安弘** しまぶくろ やすひろ・東 末子 あづますえこ

(沖縄ピーパーズ生産推進協議会)  
元八重山農林高校校長の島袋会長とかつて東京は表参道で琉球料理店を営んでいた東理事。沖ピ協議会の役員として郷土八重山の代表的なスパイス「ピーパーズ」の生産と普及に努めている。ピーパーズの良さを熟知するお2人。

**宮良 恵美** みやら めぐみ

(沖縄大学健康栄養学部教授)  
生化学を担当。生化学的手法を活かして沖縄県産食材の生理機能を研究している。臨床検査値を栄養・健康状態の改善に活用できる管理栄養士の養成に取り組む。

(司会) **新垣 慶子** あらかきけいこ

(沖縄大学地域研究所特別研究員)  
琉球料理ユネスコ無形文化遺産登録推進委員会委員長、琉球料理伝承人(一期生)、元沖縄大学特任准教授。病院管理栄養士として長年臨床に従事する傍ら子ども食堂を運営。地域の食・健康問題に取り組んでいる。

### 登壇者

**盛口 満** もりぐち みつる

(沖縄大学人文学部教授)  
理科教育を担当。前沖縄大学学長。人や組織に興味なく、専ら人と自然の関係を探求している。鋭い観察眼で生き物の絵を描くのを日課としている。著書多数。『天空のアリ植物』(八坂書房)に胡椒に取り組む高橋仙人氏が登場する。

**高橋 仙人** たかはし のりと

(仙人スパイス代表/生き物屋)  
インドネシアのジャングルでフィールドワークを行う中、地域ごとに異なるスパイスの香りに出会う。「各地の食材やスパイスに焦点を当てた仕事を」という意識を持って再訪すると、採れ立てのスパイスは鼻に抜ける香りが本当に素晴らしく、最も印象深かったカリマンタン島の胡椒を用い、村人たちと胡椒の塩水漬け『純胡椒』を作り上げた。



### 研究概要

【2023年度 沖縄大学全学研究プロジェクト班】  
研究名: 島ゴショウの6次産業化による地域づくり  
— 香り高い「沖大ピーパーズ(仮称)」の商品開発を起点とする  
コレクティブ・インパクトを目指して—  
対象地域: 南西諸島  
研究内容: 香り高いピーパーズの製法を研究し標準化に取り組むとともに、地域で多様な人々が関わりうる生産から販売までのワーキングネットを構築することにより、地域共創型6次産業化商品という新たな価値を社会に提示する。

### プログラム

- 17:30 開会挨拶・研究メンバー紹介(新垣)
- 17:35 沖縄のピーパーズについて(島袋・東)
- 17:50 沖縄の伝統的植物利用—ピーパーズの利用も含め(盛口)
- 18:05 ピーパーズの成分と機能性—商品開発に向けて(宮良)
- 18:20 【事例紹介】インドネシア産「純胡椒」の開発  
— 人の感じる新しい、とは?(高橋)
- 18:50-19:00 質疑応答・終了



### ◆◆◆「地域研究公開講座」始めました!◆◆◆

沖縄大学地域研究所には、本学教員及び特別研究員、その他の研究協力者で構成された研究班があります。それぞれ、地域の役に立ちたいという想いで地域研究に取り組んでいます。本研究活動をより地域に開かれたものとしていくことを目的とし、今年度から、全ての研究班が地域研究公開講座を実施しています。研究班活動の内容や対象とする課題等について、皆様に分かりやすくご紹介させていただきます。今年度は全10班の地域研究公開講座を開催します。(裏面参照)

### ★視聴無料★ 1/18(木)までに要事前申込

申込先【Googleフォーム QRコード】

※本学HPに申込先URLも記載しています。  
氏名・連絡先・所属等を入力の上送信してください。  
Wi-Fi等ネット接続ができる環境で、PC・スマホ・タブレット等から視聴できます。お申し込みされた方には、講座日の1週間前までに、接続先の情報(ログインURL)をメールでご案内します。案内メールが届かない場合は1/22(月) 14時までに沖縄大学地域研究所までお問い合わせください。



※講座終了後、アンケート(メールで回答フォームURLをお送りします)への回答にご協力ください。

問い合わせ先: 沖縄大学 地域研究所  
住所: 沖縄県那覇市市場405番地  
沖縄大学アネックス共創館2階  
窓口: 平日8:30~17:15(12:00~13:00 閉室)  
Tel: 098-832-5599  
Mail: chicken-staff@okinawa-u.ac.jp

# 2023年度 沖縄大学地域研究公開講座 開催予定一覧 (12月26日現在)



※詳細は本学HPよりご確認ください。



	開催予定日	研究代表者名 (所属学科)	研究名	研究内容要約
済	1 6/21(水) 16:30~17:30	伊藤 丈志 (国際コミュニケーション学科)	地域共創形成プロジェクト —那覇市真和志南地区との「観光フットパス」共同作成を通じて—	本学周辺地域の歴史、文化等を堪能できる観光フットパスを、地域住民、本学学生・教職員など背景の異なる者達が共同作成することを通じて、地域の持つ魅力を再発見、発信しながら交流できる仕組みを構築する。
済	2 9/19(火) 16:00~17:30	系数 哲 (経法商学科)	沖縄県を中心にした「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる総合的研究	沖縄本島および離島をベースにしなが、様々な災害概念を対象として幅広く地域研究を行い、「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる文理融合の学際的・総合的研究を進めていく。
済	3 10/11(水) 16:00~17:30	西章 (福祉文化学科)	沖縄大学「いのちの未来の平和学」プロジェクト	2022年2月末のウクライナ戦争から始まった国際秩序の揺らぎもあり、沖縄大学が「平和と反戦」を強く発信していくような流れを作っていき、〈学び舎〉として平和教育を実践していくことを目的としている。沖縄大学の有志が集まって月一回のペースで地域市民の方々にも門戸を広げ「戦争と平和」「人類と人権」「非暴力と自由」「差別と不寛容」「本当の意味でのSDGs」などについてのフォーラムやワークショップを企画運営し、沖縄大学から「平和と反戦」の実践活動を発信していく。
済	4 10/31(火) 16:30~17:30	島田 尚徳 (経法商学科)	日本の周縁地域における「まちひとしごと創生」と観光振興	多様なアクターの参加によって実施されている日本の周縁地域における地域活性化の実相を「まち・ひと・しごと創生」と関連付けられた施策—特に観光振興—の分析を通して多面的に明らかにすることを目的としている。
済	5 11/15(水) 19:00~20:00	盛口 満 (こども文化学科)	こどもと自然 —離島地域における教育環境と大学の関わり—	地理的不利な離島においては、教育の手段も制限され、学校教育以外の出会いの場(教的な場)も少ない。研究班では大学による出前授業を実施することにより、地理的に不利な教育環境をどの様に補完できるかを考える。また、こうした取り組みを持続的に実施するための課題と解決策を探る。
済	6 12/14(木) 17:00~18:00	富山 侑美 (経法商学科)	沖縄の家族観・死生観にみる臓器提供に関する法と政策 —より多くの命を救うために—	我が国で独自性を有する沖縄の家族観・死生観が、臓器提供の際に与える影響を調査した上で、ドナー不足により救えない命があるという課題を、沖縄の地域性からいかに解決していくか、法的・政策的観点から考察する。
✓	7 1/24(水) 17:30~19:00	宮良 恵美 (管理栄養学科)	島ゴショウの6次産業化による地域づくり —香り高き「沖大ピーパーズ(仮称)」の商品開発を起点とするコレクティブ・インパクトを目指して—	香り高いピーパーズの製法を研究し標準化に取り組むとともに、地域で多様な人々が関わりうる生産から販売までのワーキングネットを構築することにより、地域共創型6次産業化商品という新たな価値を社会に提示する。
✓	8 1/31(水) 18:00~19:30	下地 みさ子 (管理栄養学科)	食品ロス削減食育研究:食べる力、生きる力、取り組む力	従来の食育の概念「食べる力、生きる力」に加え、食品ロス削減に「取り組む力」を養えるような効果的な食育方法を開発することを目的とし聞き取り調査等を行う。開発したツールを用い食育を行うと共に食品ロスに対する意識調査や健康に関する身体的調査あるいは健康意識調査を計画する。
✓	9 2/1(木) 15:00-16:00	若林 千代 (経法商学科)	沖縄における地域史とオーラルヒストリーの方法 —戦後史研究の実践から問い直す—	沖縄戦後史研究では、オーラルヒストリーの方法と実践に対する学術的検証は未だ十分とはいえない。本研究では、オーラルヒストリーの実践を通じて研究史を再検証しつつ、地域史の新たな方法を探究する。
✓	10 2/27(火) 13:00~14:00 14:00~16:00	成定 洋子 (経法商学科)	戦後沖縄の相談員をめぐる仕事と労働に関する基礎的研究	戦後沖縄の相談員をめぐる仕事や労働に関わる諸問題にジェンダーと人的資源管理の視点から取り組むことで、学際・実践的労働問題解決ネットワークを構築、沖縄の相談員の仕事・労働に関わる課題や可能性を開示する。